

Kase 11 月号

嘉瀬公民館だより

2020
(令和2年)



発行/佐賀市立嘉瀬公民館

嘉瀬校区の人口 (9月末現在)

世帯数 2,119 世帯 男 2,235 人
人口 4,878 人 女 2,643 人

〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原1690番地

TEL・FAX/ 0952-26-5208

E-mail/ kkase@city.saga.lg.jp

公民館講座 参加者募集のお知らせ

ことぶき大学

対象 嘉瀬校区在住の60歳以上の方
場所 嘉瀬公民館大会議室 参加費 無料

第5回 日時 11月24日(火) 10:00~11:30

内容 『健康体操 自彊術』

講師 副島美保さん(自彊術普及会指導員)

定員 20人(先着順)

申し込み 11月2日(月)より受付

第6回 日時 12月15日(火) 10:00~11:30

内容 落語『笑い与健康(仮)』(演目未定)

講師 佐賀ユーモア協会から3名

定員 30人(先着順)

申し込み 11月24日(火)より受付

みそ作り講座

日時 1月20日(水)、2月17日(水)
いずれも13:30~

場所 嘉瀬公民館 藍染め工房

講師 ふるさと先生嘉瀬会

対象 どなたでも

定員 各日5人

材料代 麹1kg当たり約800円

申込期限 各開催日の4週間前

その他

- ・麹5kg単位でお申し込みください。
- ・エプロン、三角巾、マスク、みそを入れる容器を持参してください。
- ・参加者全員で協力して作業を行っていただきます。



申し込み・問い合わせ 嘉瀬公民館 TEL/FAX 0952-26-5208 (8:30~17:00 土日祝除く)

第31回 嘉瀬校区少年の主張大会

氏名	学年	町区	題名
小石 麻央	小6	荻野	どうひろばのジュニアボランティアとして思ったこと
北島 茉紘	小6	嘉瀬津	ふだんやっていることは当たり前じゃない
茶園 貴人	小6	扇町	柔道を習って学んだこと
松本太一朗	小6	有重	生き物と環境のつながり
久部 世羅	小6	中原	野球で学んだ大切なこと
北村 歩夢	小6	新町	今、思い願うこと
田中颯志郎	小6	十五	みんなに伝えたいぼくのこと
安武 奈那	中2	十五	幸せなこと
北村 萌樺	中3	新町	思いやりの心

嘉瀬小学校授業参観の日の10月18日(日)、嘉瀬小の体育館で「少年の主張大会」が開かれ小中学生が自分の考えや思いを発表しました。

「少年の主張大会」には例年、嘉瀬小の全児童が参加していましたが、今年は5・6年生のみに。壇上ではどの子も真剣な表情で堂々と発表し、発表が終わるごとに盛大な拍手が送られました。

(主催 嘉瀬校区青少年健全育成協議会)



主催・共催事業 報告

ことぶき大学 今年のテーマ『笑いと健康』

『ボランティアは楽しい』～歌と講話～

第3回は、8月25日(火)。講師の的野勝さんは、NHKのど自慢ほか多くの歌唱イベントで優勝歴をお持ちの元佐賀県庁職員で、現役の頃から福祉施設を中心にチャリティーコンサートなどボランティア活動を40年近く続けられています。

ボランティアについて「やる方も受ける方も楽しい気持ちになれる」「経験を活かし、好きなことで、無理なく続けて」など長年の経験に基づくお話と、その合間に披露される素敵なお歌で、参加したみなさんも最後まで笑顔で受講されていました。

(参加者28人)



『フレイル予防で健康長寿』

第4回9月29日(火)の講師は、佐賀市昭栄地域包括支援センター(通称：おたっしゅ本舗昭栄)の松田智子さん。

「フレイル」とは、高齢になり心身の活力が衰えた状態のことで、体力だけでなく精神や社会性の状態の低下にも大きく関係することや、予防のポイントを丁寧に教わりました。座学の後には、フレイル予防に効果的なエクササイズに取り組み、脳と体を同時に使う運動は思い通りに動けなかったりしましたが、それが余計に参加したみなさんの笑いを誘い、楽しく学べました。

(参加者16人)



スマホ講座

NPO法人シニアネット佐賀のみなさんを講師に招き、スマホ講座を10月6日(火)・8日(木)・12日(月)の3日間嘉瀬公民館で開催しました。

参加したのはまだスマホを持っていない方、持ってはいれるけれどもっぱら電話やラインだけという初心者の方々。OSの種類、料金体系などの基本的なことから始まり、インターネットの検索方法やラインの操作、地図アプリの便利な使い方などを教えていただきました。

最終日には詐欺対策について説明がありました。ワンクリック詐欺やフィッシング詐欺は無視するに限る。画面が戻らなくなっても慌てず、先方に連絡したり安易に個人情報を入力したりしてはならないという話に、参加した人は熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。(参加者6人)



子育て応援講座

毎月第2・4木曜日に嘉瀬公民館で活動している子育てサークルかせっこマーチとの共催で、『人形劇がらがらどん』のみなさんによるおはなし会を10月8日(木)に行いました。

子育てサークルの親子9組が参加。お母さんの膝の上に抱かれた子どもたちは、音楽に合わせて手拍子したり、布で作られた動物の人形を興味深く眺めたりして楽しんでいました。



藍染め体験



繰り返し液につけることで、ハンカチが緑色からだんだんと藍色に変わっていくのを見て子どもたちは驚いていました。「またやりたい!」という子もいて、一人ひとり違った模様染め上がったハンカチを手にし、満足気な様子でした。

藍・愛をつむぐ会代表の右近さんは「今年は6年生の藍染め体験ができないかとも思っていたので、できてうれしい。藍染めは嘉瀬町ならではの文化を子どもたちに伝えていきたい」と笑顔で話しました。(参加者56人)

嘉瀬公民館の藍染め工房で10月3日(土)、嘉瀬小の6年生が藍の生葉染めを体験しました。指導するのは、嘉瀬町で長年活動する『藍・愛をつむぐ会』のみなさん。この催しは毎年6年生とその保護者を対象に行われてきましたが、今年は児童のみの参加となりました。

工房に隣接する畑で育てた藍の葉を使って、一人一枚ずつハンカチを染めます。液につける前に、ハンカチを輪ゴムでしばったり、ボタンをくるんだりしました。こうした作業をすることで、染めたハンカチに模様ができます。



みそ作り講座

地元産の米や大豆を使った食育活動を行っている『ふるさと先生嘉瀬会』のみなさんが指導するみそ作り講座が、今年も10月21日(水)から始まりました。今年度は参加者を各回5人に限定しています。

前日から水に浸けた大豆を茹で、人肌程度に冷まします。潰した大豆と塩麹をフードミキサーで混ぜ、大豆の茹で汁で硬さを調整すれば出来上がり。3カ月ほど寝かせると美味しくなるそうです。



嘉瀬町探訪 — 乙護神社 (荻野)

創立不詳。平胤貞が建久3(1192)年に再建したとの記録がある。祭神は多紀津姫命、多紀理姫命、市杵島姫命他五柱で、文禄2年龍造寺周家によって再建され、明治8(1875)年8月に村社に列せられた。(参考引用:嘉瀬町史)

荻野に長年暮らす荒巻真知子さんに、神社の話をききました。

多久領だった荻野

「私の父は橋本といい、第15代の神主でした。役所に勤めながら神社の仕事もしていました。父が亡くなったあとは親戚の方をお願いしています」荻野は幕末まで多久領だったそう。神門銘に多久茂矩、多久茂文の名が残ります。「鍋島のお姫様が興入れするとき、土地も一緒に多久に贈られたとききました。荻野が多久領だったことを知る人は、この地の人でも今は少ないでしょうね」

今も変わらない浮立

「乙護神社の氏子は、荻野と東原。秋祭りの浮立は、以前は氏子全部の家を廻っていました。私が幼い頃は子どもが多くて、浮立の列が賑やかでしたね」今では神社総代や新築された家のみを廻るようになっていたとか。秋祭りに神社に参拝する人も、だんだん少なくなってきたと感じるそうです。

「浮立はまったく変わっていないですよ、昔も今も。踊りも衣装も、大切に受け継がれています」今年は残念ながら、嘉瀬町の神社の奉納浮立は全て中止になってしまいました。

神社の掃除は近隣住民の当番制で、月に3度は行われるそう。「境内の茂った木は、いつの間にか近所の方々が手を入れてくださって。小さな神社ですが廃れた感じはなく、きれいなことに驚く人もいます。元日祭や戦没者慰霊祭も以前と変わらず行われ、地域のみなさんは本当に神社を大切にされていると思います」



樹齢約300年のクスの木。佐賀の名木・古木に登録されている。



荒巻真知子さん。小学校低学年の頃は、神社の春祭りで旅役者の芝居を楽しんだ。

ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)

ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) が実現した社会は、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」とされています。

おさらい ワーク・ライフ・バランスについて誤った認識をもっていないですか??

全て間違いです!!



- 福利厚生制度
- 仕事とプライベートを50:50にすること
- 女性や時間制約がある人のための制度
- ノー残業デーを設けているから関係ない

職場全体での働き方改革が必要!

働き方を変えることで、仕事と生活の調和が生まれ、人生の満足度を高めることができます。